

プログラム

第1会場

開会挨拶・学術集会長講演

9:00 ～ 9:40

座長：平原 佐斗司 東京ふれあい医療生活協同組合 オレンジほっとクリニック

いま、どうして認知症の緩和ケアを問うのか

小川 朝生

国立研究開発法人がん研究センター東病院精神腫瘍科

シンポジウム 1

10:00 ～ 12:00

BPSD、チャレンジング行動

座長：遠矢 純一郎 桜新町アーバンクリニック

鶴屋 邦江 医療法人実風会 新生病院

S1-1 BPSD に対する具体的な薬物療法

井上 真一郎

新見公立大学 健康科学部 看護学科

S1-2 日本版 BPSD ケアプログラム：国際共同開発の経緯と展望

中西 三春

東北大学大学院医学系研究科精神看護学分野、公益財団法人東京都医学総合研究所社会健康医学研究センター、
ライデン大学医学部公衆衛生・プライマリケア分野

S1-3 日本版 BPSD ケアプログラム～地域での作業療法士の実践～

村島 久美子

桜新町アーバンクリニック

S1-4 地域における日本版 BPSD ケアプログラムの実践例

行動・心理症状は認知症の方からのメッセージ

佐藤 勝宣

デイサービスすずらん梅丘

会員説明会（平原 佐斗司）

12:05 ～ 12:25

特別講演

13:00 ～ 14:00

座長：小川 朝生 国立研究開発法人がん研究センター東病院精神腫瘍科

高山 陽子 日本看護協会 看護研修学校

インタビュアー：小森 由美子 認知症介護研究・研修東京センター 客員研究員

認知症になってからも、自分らしく生きるために—当事者の声から学ぶ

藤田 和子

一般社団法人日本認知症本人ワーキンググループ 代表理事

シンポジウム 2

14:10 ～ 16:40

新しい認知症観が描く未来

—医療安全と穏やかな暮らしで実現する、身体拘束フリーの認知症緩和ケア

座長：平岩 千代子 最期まで身も心も縛られない研究会

森林 朋英 日本看護協会看護研修学校

鈴木 みずえ 浜松医科大学

S2-1 認知症の人でも縛られたことは忘れない～尊厳が守られる「最小限の拘束」とは？

佐藤（佐久間）りか

認定 NPO 法人健康と病いの語りディベックス・ジャパン

S2-2 認知症の患者を医療事故からいかに守るのか

長尾 能雅

名古屋大学病院患者安全推進部

S2-3 拘束をした場合としなかった場合の法的・紛争リスク

稲葉 一人

いなば法律事務所

S2-4 認知症の人の尊厳あるケアの追及

石川 容子

医療法人社団翠会 和光病院

閉会挨拶（鈴木みずえ）

16:50 ～ 17:00

第2会場

一般演題 1

9:00 ~ 10:20

座長：西山 みどり 有馬温泉病院

大須賀 悠子 医療法人社団フィーカ関医院

01-1 がん転移のある認知症患者のエンドオブライフの QOL 向上を目指した意思決定支援
天後 貴代

医療法人 信和会 明和病院

01-2 認知症高齢者の意思決定支援研修の実施における効果と課題
～慢性疾患看護専門看護師と認知症看護認定看護師共同企画を継続して～
緒方 由美、田中 亜由美、栄 信孝

国立病院機構 大牟田病院

01-3 認知症を抱える方の悲嘆に寄り添う摂食嚥下の訪問看護
黒河内 誠司

訪問看護ステーション Style

01-4 独居認知症高齢者の意思決定支援

野崎 泉、大橋 美奈、田内 三津江、山田 理恵子、赤林 綾、遠藤 直美、田中 三津枝
稲沢市民病院

01-5 適時適切な支援を目指した認知症アウトリーチチームが介入した一症例
矢村 圭介、山田 真紀子、遠藤 野恵美、山崎 貴弘、柴田 展人、佐藤 典子

順天堂大学医学部附属順天堂東京江東高齢者医療センター

01-6 認知症看護により引き出された意思決定能力
中西 佳菜、松永 春樹

実風会新生病院

シンポジウム 3

10:30 ~ 12:00

認知症の軌跡を踏まえた支援（フレイル、身体活動、栄養）

座長：森林 朋英 日本看護協会看護研修学校

吉際 俊明 医療法人社団慶成会 青梅慶友病院

S3-1 認知症高齢者の QOL 向上を実現するセミオーダーメイド栄養ケアモデル
佐藤 香苗

東海学園大学健康栄養学部

S3-2 認知症の軌跡を踏まえた支援 ―身体活動の観点から―

後藤 響

長崎記念病院 リハビリテーション部、長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科 理学療法学分野

S3-3 認知症の人の QOL を支える口腔ケア

那須 真弓

亀田医療大学

一般演題 2

12:30 ～ 13:20

座長：佐藤 典子 順天堂東京江東高齢者医療センター

木野 美和子 筑波メディカルセンター

O2-1 認知症ケアチームの身体的拘束最小化に向けた取り組み

内藺 麻紀、岡山 悟志、市橋 恒男、川上 歩、永松 和彦、吉田 佳世、西川 照子、森川 沢美

奈良県西和医療センター

O2-2 事故検証ラウンドから認知症高齢者の転倒防止対策を考える

宿野 真嗣、松野 美保、新田 亜矢、赤間 美樹、桑田 美代子、川村 治子

医療法人社団慶成会 青梅慶友病院

O2-3 急性期病院における認知症患者の行動・心理症状軽減への実践事例

平佐 靖子

聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院

O2-4 認知症の人の尊厳を守る安全管理を考える ―身体拘束最小化に向けた取り組み―

森岡 あずさ、西川 優子、三谷 好

宝塚リハビリテーション病院

一般演題 3

13:30 ～ 14:50

座長：高井 ゆかり 群馬県立県民健康科学大学

早川 景子 有限会社コミックス・ブランド

O3-1 認知症サポートチームが行う入院時介入の重要性

鈴木 桂子

一般社団法人 巨樹の会 八千代リハビリテーション病院

O3-2 急性期病院に入院する認知症高齢者に個別性・継続性のある看護を提供するために
有用な情報

小林 陽菜、進藤 真由美

信州大学医学部保健学科看護学専攻

- 03-3 コロナ禍から生まれた『院内個別訪問デイケア』の取り組み
～思いを大切にできる時間と『語り』の記録の活用～
吉田 由美子、本間 美千代、岡本 亜希子、平林 ひろい、降旗 いずみ
市立大町総合病院
- 03-4 回復期病院認知症ケアチームに必要とされる認知症高齢者への退院支援
臼見 史恵¹⁾、橋本 弓恵²⁾
1) 日本赤十字看護大学看護学部、2) 鬼倉循環器内科クリニック
- 03-5 活動の質評価法（A-QOA）を活用した認知症の人と家族の緩和ケア事例
齊藤 隆一、河野 里帆、嶋野 一成、佐々木 裕子、松岡 一子
山口県済生会豊浦病院
- 03-6 ユマニチュードと共に成長するケアマインド
三木 康彰¹⁾、矢部 賢太²⁾、藤原 香子¹⁾、木部 由紀¹⁾、佐原 弘美¹⁾、永見 香織¹⁾、高垣 由美子¹⁾、
瀧井 沙織¹⁾、前田 孝治¹⁾、淵之上 雄太¹⁾、柏谷 友広¹⁾、田貝 泉¹⁾
1) 社会医療法人 南港病院、2) 社会福祉法人 健成会 加賀屋の森

シンポジウム 4

15:00 ～ 17:00

認知症の人とのコミュニケーション～3つの場面から考える～（しゃべり場）企画

座長：井上 真一郎 新見公立大学 健康科学部 看護学科
鶴屋 邦江 医療法人実風会 新生病院
桑田 美代子 医療法人社団慶成会 青梅慶友病院
日向 園恵 石巻赤十字病院
立原 怜 島根県立中央病院
佐藤 典子 順天堂東京江東高齢者医療センター

演者：井上真一郎 新見公立大学 健康科学部 看護学科
名古屋 譲 特定医療法人楽山会 三島病院
山下 いずみ 江別市立病院
谷向 仁 名古屋市立大学大学院看護学研究科
岡本 明大 三重大学医学部附属病院薬剤部
木野 美和子 筑波メディカルセンター
小川 真寛 神戸学院大学総合リハビリテーション学部
森本 景子 地方独立行政法人 神戸市民病院機構 神戸市立西神戸医療センター
副島 沙彩 国立研究開発法人 国立がん研究センター東病院 精神腫瘍科